

暮らしに合わせた供養のかたち リビングに溶け込む「現代仏壇」



台付きタイプは下に線香やろうそくなどを収納できる。扉を閉めれば仏壇に見えないのでリビングに置きやすい。



扉に立体的な市松模様を表現した「ダミエ」。場所を取らない薄型の壁掛けタイプはまるでインテリアのよう。



マンション・アパートではコンパクトな上置きタイプが人気。清月記では設置時に地震対策も行ってくれるので安心。



大切なペットの供養ブランド「ココリノ」も取り扱う。陶器製「骨つぼモニュメント」の中には遺骨や思い出の品を収められる。



イタリアの職人によって作られた「マルコII」。伝統の象嵌細工とアンティークなロココ調デザインが空間を優美に彩る。



県内にある「ギャラリーメモリア」の中でも随一の品揃えを誇る。仏壇のほか位牌や仏具、ちりめん細工の供え物なども扱う。

昨年11月、『ぶつだんギャラリー太白 清月記』内に
モダン仏壇を提案する八木研のショールーム「ギャラリーメモリア」がオープン。
進化し続ける仏壇の今を、見て、触れて、選ぶことができます。

県内随一の品揃えの中から
好きなデザインを選ぶ

核家族化やライフスタイルの多様化が進み、仏壇の在り方も大きく様変わりしています。昨年11月に『ぶつだんギャラリー太白 清月記』内にオープンした「ギャラリーメモリア」は、モダンな仏壇のバイオニアである八木研のショールームです。

「仏壇のあるリビング」をコンセプトにしたオリジナルブランド「現代仏壇」は、どれもシンプルでスタイリッシュ。国内外の職人によって丁寧に作られており、床の上に置く台付きタイプ、コンパクトな上置きタイプ、場所を取らない壁掛けタイプなどさまざまな形を用意。色・デザインも豊富なので、部屋のテイストに合わせてコーディネートが可能です。

「ギャラリーメモリアではお客様に仏壇の扉を開けて、見て楽しんでいただくために、あえて扉を閉じて展示しています。仏具も自由に交換しながらお選びいただけます」と話すのは、清月記アフター部次長・長田寛さん。仏壇の内部には仏具一式が飾られているのでイメージがつかみやすく、扉を閉めればインテリア、開ければ仏壇という「現代仏壇」の魅力を余すことなく体感できます。

仏壇は代々受け継がれるものというイメージがありますが、最近では「大きな仏壇を次の世代に引き継がせたくない」と小さな仏壇に買い替えるケースが増えています。また宗教や慣習にとらわれない手元供養として、ステータジタイプの仏壇が選ばれています。ペット供養では、大切なペットをいつも身近に感じられる

「骨つぼモニュメント」が人気を集めています。『ぶつだんギャラリー太白 清月記』では、仏壇・仏具の選び方から祀り方、設置、買い替えの際の古い仏壇の処分まで相談を受け付けています。自分に合った供養のかたちを選ぶためにも、まずは最新の仏壇事情を知り、見て、触れてみてはいかがでしょうか。



国道286号線沿いに立つ「ぶつだんギャラリー太白 清月記」。仏壇・仏具・墓石の展示数は県内最大級を誇る。

ぶつだんギャラリー太白 清月記

仙台市太白区西多賀4-4-5 www.seigetsuki.co.jp
☎022-307-3888
□営業時間/10:00~18:00 □定休日/火・水曜

スガワラホールディングス

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2丁目5番4号 TEL.022-782-5777

